

衛生管理技術問題

- 問題 1** 被消毒物件とその消毒法の組合せのうち、正しいものはどれか。
- ① タオルやケープなどの布片類……………紫外線消毒
 - ② ヘア・クリップやヘアピン類……………逆性石けん消毒
 - ③ シザーズやカット用レーザー……………次亜塩素酸ナトリウム消毒
 - ④ カッティング・コームやリング・コーム……………蒸気消毒
- 問題 2** 消毒薬の特徴、効力および使用上の注意などに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 消毒薬は、血液や汚れが入り込んでも、その効力が低下しない。
 - ② 消毒薬の効力は、濃度の濃さと作用させる時間の長さに影響を受けるが、作用させる温度の影響はほとんど受けない。
 - ③ 消毒薬の使用液(希釈液)は、こまめに作りかえるように心がける。
 - ④ 余分に調製した消毒薬の使用液(希釈液)は、必ず冷蔵庫内に保管する。
- 問題 3** 次の器具のうち、紫外線消毒法が適用できないものはどれか。
- ① タオル
 - ② クリッパー
 - ③ カット用レーザー
 - ④ シザーズ
- 問題 4** 結核菌に対する消毒薬の効果に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
- a 両性界面活性剤は、結核菌に効果がある。
 - b 消毒用エタノールは、結核菌に効果がない。
 - c 逆性石けんは、結核菌に効果がある。
 - d グルコン酸クロルヘキシジンは、結核菌に効果がない。
- (1) aとb (2) bとc (3) cとd (4) dとa
- 問題 5** 消毒をする際の一般的な注意事項に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 必ず消毒薬を用いなければならない。
 - ② 理容師施行規則・美容師施行規則に定められている消毒方法と同等以上の効果があれば、どのような方法をつかってもよい。
 - ③ 消毒薬使用液(希釈)は、一度にたくさん作り、使用する都度、小分けして使うとよい。
 - ④ 消毒するものの材質を考慮して、消毒法を選らばなければならない。
- 問題 6** 消毒をする際の一般的な注意事項に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 被消毒物件の材質と汚染の状態を考慮して、消毒法を選ばなければならない。
 - ② 消毒薬の使用液(希釈液)は、一度にたくさん作り、使用する都度、小分けして使うとよい。
 - ③ 消毒薬の使用液(希釈液)は、週に1回交換すればよい。
 - ④ 理容師施行規則・美容師施行規則に定められている消毒方法と同等以上の効果があれば、どのような方法を使ってもよい。
- 問題 7** 次の消毒法のうち、結核菌に効果のないものはどれか。
- ① 両性界面活性剤
 - ② 煮沸
 - ③ 逆性石けん
 - ④ エタノール
- 問題 8** 器具の材質と消毒法に関する次の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。
- ① ガラス製品、陶磁器……………煮沸
 - ② 金属製品……………塩素水
 - ③ セルロイド……………逆性石けん水溶液
 - ④ 革製品……………エタノール水溶液
- 問題 9** 対象別の消毒法に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。
- ① ガラス製品、陶磁器……………煮沸、各種の薬液
 - ② 金属製品……………塩素、ヨウ素
 - ③ プラスチック・ゴム製品……………加熱
 - ④ 下水溝……………逆性石けん、エタノール
- 問題 10** 優れた消毒法の条件を満たしているものは、次の記述のうちどれか。
- ① 消毒の目的を達成させるためには、被消毒物件を多少損じてでも確実な消毒法を利用すべきである。
 - ② 人畜に対して毒性が強くても、確実に効果のある消毒の方法を利用すべきである。
 - ③ 方法が簡便で、かつ確実な、そしてそのための費用も多からぬ消毒の方法を利用すべきである。
 - ④ 臭いなどが残り、消毒したことが確認できる消毒法を利用すべきである。
- 問題 11** 消毒を行う際の一般的な注意事項に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 消毒するものの性質を見極めて、消毒法を選ばなければならない。
 - ② 理容師法施行規則・美容師法施行規則に定められている消毒法と同等以上の効果があれば、どのような方法でもよい
 - ③ 消毒薬使用液(希釈液)は、一度にたくさん作り使用するたびに小分けして使うとよい。
 - ④ 必ず消毒薬を用いなければならない。

問題 12 消毒薬を保存する際の注意に関する次の記述のうち、誤っているものを下記より選びなさい。

- ① 密栓して、冷暗所に保存する。
- ② 塩素系の消毒薬は冷暗所(15℃以下)に保存する。
- ③ 薄めた消毒薬液は成分が安定するまで冷暗所に保存する。
- ④ 子どもの手の届かない所に保管する。

問題 13 美容の業において、すぐれた消毒法を選定する条件を満たしているものは、次のうちどれか。

- ① 短時間で消毒され、効果が確実であること。
- ② 経費が多くかかっても、効果が確実であること。
- ③ 毒性が強くて、効果が確実であること。
- ④ 被消毒物の材質を損なっても、効果があること。

問題 14 消毒を行う際の一般的な注意事項に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 美容師法施行規則に定められている消毒法と同等以上のようであれば、どのような方法でもよい。
- ② 消毒薬使用液(希釈液)は、一度にたくさん作り、使用する都度、小分けして使うとよい。
- ③ 手指や皮膚を消毒するには、刺激性の強い消毒薬を選ぶ。
- ④ 被消毒物件の性質(材質)を見極めて、消毒法を選らばなければならない。

問題 15 優れた消毒法の条件に関する次の組み合わせのうち、不適当なものはどれか。

- ① 被消毒物件を損じないこと……………効果が確実であること
- ② 短時間に消毒されること……………方法が簡単であること
- ③ 臭いや色が残らないこと……………毒性が低いこと
- ④ 内部には作用しないこと……………費用が多くかかること